



編集後記

2021年は、昨年に引き続き、世界中で新型コロナウイルス感染に揺れた1年となりました。1月と4月には緊急事態宣言が発出され、東京五輪・パラリンピックの開催にも大きく影を落とし、私たちの生活や働き方も変わらざるを得ない状況となりました。

一方、スポーツ界では世界中で多くの日本人アスリートが大活躍した年でもありました。メジャーリーグでは大谷選手が2刀流でMVPを獲得し、ゴルフ界では松山英樹が日本人男子として初めてマスターズを、笹生優花が全米女子オープンをそれぞれ制覇しました。また、1年延期の末に開催された東京五輪では、史上最多となる57個のメダルを獲得しました。世界中で活躍する彼らの姿は、日本中に勇気と希望を与えてくれました。

しかし、一方で、7月には梅雨前線による集中豪雨によって静岡県・熱海市で大規模な土石流災害が発生し甚大な被害をもたらし、自然災害の恐ろしさを痛感させられました。

このような混乱が続く社会情勢の中で、コロナ禍により延期された60周年記念誌の企画・編集作業を行うこととなりました。

第70号記念誌は、節目となる60周年に改めてこれまでの協会活動を振り返り、次の10年の成長や発展に寄与したいという思いも含まれております。そのため、記念特集として「この10年の振り返り」や「これからの地質調査業界に望むこと」をあげました。また、特別企画として「災害と戦う！～災害のこの10年～」では様々な災害対応などについて協会員の方々から寄稿していただきました。

今回の記念特集から、私たちの業界が、社会の発展に寄与し、安心安全な社会を構築するため、様々な活動を通して支援を続けていることを再認識していただければ幸いです。

特別寄稿では名古屋大学 名誉教授 浅岡 顕様から寄稿いただきました。本来であれば、本寄稿は記念式典の中で直接にご講演いただく予定にしておりましたが、残念ながらこれは別の機会となりました。

そのほか、例年開催しております中部地整と本協会との意見交換会は、初めてのWEBによる開催となりました。意見交換会は、システムトラブルに見舞われながらも、対面式と同様に真摯な意見交換が行われました。この意見交換会の模様も本誌の中で紹介させていただきます。

「中部ミニフォーラム」と「現場見学会」は、例年どおりに無事に開催されましたので、優秀論文発表や参加報告を掲載する予定です。また、「常設委員会報告」と「県支部活動報告」は、様々な活動報告とともに、これまでの10年間の活動の振り返っていただきました。

本文の締めくくりに当たりまして、今回の祝辞や寄稿に御協力いただきました方々に改めて感謝申し上げます。また、書面の編集都合により各執筆者からの大変貴重な原稿を多少編集させていただいたことをお詫び申し上げます。

今後とも、皆様の興味を呼び起こす話題を提供できればと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

編集委員会